

平成28年度学校経営について

(1) 教育目標

社会の変化に自ら対応し、心豊かでたくましい生徒の育成
～正しい判断力と実践力をもつ生徒を育てる～

①生きて働く確かな学力の向上 ②豊かな徳性と情操の涵養
③自己開拓のための意志力の養成 ④たくましい心と身体の育成

めざす生徒像

- | | |
|----------------------------|------|
| ① 基礎的・基本的な内容と問題解決力を身につける生徒 | 賢く |
| ② 思いやりの心と素直な心を持つ生徒 | 優しく |
| ③ 自分の目標実現に立ち向かう気力をもち続ける生徒 | 粘り強く |
| ④ 健康でたくましい身体をもつ生徒 | 逞しく |

(2) めざす教師像

- ① 常に主体的に研修に励み、自らを磨く教師
- ② 生徒の発想を生かし、魅力ある授業を創り出す教師
- ③ 生徒に寄り添い、最後まで面倒をみる相談的な教師
- ④ 生徒、保護者、地域の人々とともに歩む教師

(3) 経営方針と重点目標

<経営方針>

- ① 学習指導要領、千葉県学校教育指導の指針並びに館山市教育施策の趣旨をふまえて、特色ある教育課程、組織としての視点を持った教育活動を編成し実施する。
- ② 研修・研究の充実により教職員個々の力量を強化し、その成果を子どもに生かす。特に若年層教員を育てることに重点を置き、組織的に取り組む。
- ③ 生徒指導を教育活動の中核に据え、「認める、褒める、励ます」の成功志向とプラス思考の指導を推進する。コミュニケーション能力を高め、生徒の自主的な活動と自己実現を促し、一人一人の良さを引き出し伸ばす。
- ④ 確かな学力を保障する学校としての責任を自覚し、基礎的・基本的事項と自ら学び自ら考える力を身に付けて、生涯学習の基礎づくりを行う。
- ⑤ 全教育活動を通じて、健康で逞しい身体、思いやりの心と生命尊重の精神を培い、心豊かな生徒の育成を図る。
- ⑥ 学校・家庭・地域の連携を深め、地域とともにある学校をめざす。教職員の不祥事根絶、学校評価の公表により、地域に信頼される開かれた学校づくりに努める。

<重点目標>

- ①学力向上（授業の質的向上、基礎基本の定着）
- ②部活動の充実（生徒の主体的な活動）

<主な取り組み>

生徒につく (生徒とともに)

① 心の教育・生徒指導の推進

イ 基本的な生活習慣の確立

- ・あいさつ運動の展開（生徒会活動を中心に、職員も、保護者も）
- ・下校指導の充実
- ・服装や携帯電話等のルールの徹底（計画的・継続的な使い方の指導）
- ・部活動の充実 ・家庭や関係諸機関との連携

ロ コミュニケーションや、人との関わりを大切にした各教科の授業実践

- ・生徒指導の機能を重視したわかる授業
- ・道徳授業の確実な実施

ハ 長欠・問題行動への対処

- ・長欠者の早期発見、サポートチームによる早期対応(生徒支援委員会組織の活用)
- ・いじめのサインや小さな問題行動を見逃さない(生徒指導委員会・いじめ防止対策委員会組織を活用)
- ・Q Uテストや心の健康チェックリストの活用
- ・スクールカウンセラーの計画的・継続的な活用
- ・家庭や関係諸機関との連携 ・部活動の充実

② 学力向上、教科指導の充実

イ 基本的な学習習慣の確立

- ・チャイム着席、元気なあいさつ（まずは時間を守り、学習に参加）
- ・学習訓練の徹底(話を聞く態度、発表の仕方、グループ活動の仕方、ノートの取り方等)

ロ 授業改善の取り組み

- ・生徒指導の機能を重視したわかる授業（脱チョーク&トーク）
- ・達成目標の明確化、関心を高める教材提示等による学習意欲の喚起（電子黒板の積極的な活用）
- ・指導方法や学習形態の工夫・改善（少人数指導・T Tの充実）
- ・相互授業参観（「プチ参観」の計画的実施）

ハ 学習習慣の形成

- ・ステップアップデーの充実（基礎学力の向上・家庭学習の誘発）
- ・朝読書の充実（生徒も、職員も）
- ・学習相談、補充学習（テスト前部活動停止5日間／テスト前日及びテスト一日目の部活動は原則停止）
- ・各種検定への積極的な参加の奨励（英語、漢字、数学）
- ・家庭学習の奨励（家庭との連携）

ニ 学力向上推進コーディネーターの活用

- ・小中一貫した学習規律や指導方法の共通理解と定着
- ・授業改善及び生徒指導上の諸課題等の助言を生かす

③ 体力向上の推進

- イ 体力向上に向けて
 - ・運動能力証取得者30%以上を目標
 - ・体育の授業はもとより全教育活動を通して計画的・組織的に取り組む
 - ・駅伝練習、寒中水泳等シーズンスポーツへの効果的な取り組み
- ロ 食指導の充実
 - ・外部講師による食育の授業実践、毎日の給食指導
 - ・家庭への啓発と「早寝、早起き、朝ごはん」の励行
- ハ 安全指導・教育の充実
 - ・交通安全教室の実施、登下校指導の充実
 - ・避難訓練の効果的な実施

④ 生徒活動の充実

- イ 生徒会活動の充実
 - ・生徒会活動日を明確にする（月曜6校時のCT）
 - ・行事の工夫（成就感・満足感、自尊感情の高揚）
 - ・次代への確実な継承
- ロ 学年・学級活動の充実
 - ・朝夕の短学活、学級活動の工夫
 - ・学年・学級の実行部活動の活性化（コンクールや優秀クラスの賞揚）
 - ・学年・学級における日常的な清掃活動、美化活動、安全活動の推進
 - ・行事の工夫（成就感・満足感、自尊感情の高揚）

⑤ 部活動の充実

- イ 心（精神力）の強化
 - ・生徒の主体的な活動（成就感・満足感、自尊感情の高揚）
 - ・好ましい人間関係づくり（やさしい心、礼、良き友人）
- ロ 体力・運動能力の向上
 - ・サーキットトレーニングの励行
 - ・一日一日の練習の蓄積

⑥ キャリア教育の充実

- ・3年間を見通した進路指導
- ・2年生の職場体験学習の効果的な実施

⑦ 地域との連携

- イ 学校評価の実施と学校評議委員会の開催
 - ・年2回（7月・11月）の学校評価の実施と結果の公表
 - ・評価結果の教育活動への活かし方の工夫（ミニ集会とのリンク）
 - ・年3回の学校評議委員会(第2回目は、拡大評議員会とし、地域の区長・青少年相談員・防犯協会員等も招へい)の開催
- ロ マイスクールボランティア制度の積極的活用
 - ・学習ボランティア（学習協力者）の積極的な導入
 - ・外部講師（ゲストティーチャー）による計画的な講話の場の設定
 - ・環境、図書、部活動等ボランティアへの参加呼びかけ

ハ P T A活動との連携

- ・組織的な環境美化ボランティア活動の定着を図る（事前アンケートの実施）
- ・総会や学期末P T Aの参加者を増やすための運営の工夫